

【募集】

# 第6回図書館レファレンス大賞 (オンライン)

新型コロナウイルス禍の終息への行程も見通せないまま、各地の図書館はサービスを再開しつつあります。そうしたなか、異例づくめの年になりますが、今年も図書館レファレンス大賞を開催します。

ウィズコロナ、そしてその後のアフターコロナの社会にあっても、子どもたちの自己学習、オンライン授業、社会人のテレワーク、リモート会議などともなう情報収集、そして経済活動の再開や医療活動の充実、観光事業の支援、さらにはソーシャル・ディスタンスなど新しい生活様式に関わる課題や疑問の解決に、図書館への期待は高まります。

今年に入って図書館が閉館を余儀なくされていた時期もありましたが、電話やメール等を活用した非来館型あるいは非接触型のレファレンスサービスを展開した図書館もあるようです。もちろんそれらも本賞に応募することができます。令和2年という年を記録と記憶に留めるためにも、館種を超えたさまざまなレファレンス事例の応募をお待ちしております。。

図書館レファレンス大賞実行委員会 委員長 糸賀 雅児

## ●募集する内容

- ・平成29年度以降に図書館及び図書館利用者が体験したレファレンスサービスの質問・回答の事例
- ・平成29年度以降に実施されたレファレンスサービスの利用促進を図る取り組み事例

## ●応募できる方

- ・図書館（機関または職員。図書館の館種や規模は問いません）
- ・図書館利用者（個人または法人・団体〈NPO法人、行政職員〉等）

## ●応募期間・応募方法

- ・応募期間：令和2年7月1日（水）～ 8月31日（月）まで
- ・宛先・問合せ先：LF@j-c-c.co.jp

## ●審査方法及び授賞

- ①まず書類審査を行い、最終審査（プレゼンテーション動画提出）に進む3件および審査員会奨励賞（最大5件程度）を選定します。審査にあたり、レファレンスサービスを提供したり、受けたりした図書館の館種や地域性、蔵書規模等が考慮されます。
- ②最終審査にすすんだ応募者（グループ）は、プレゼンテーション動画（10分以内）を作成・提出し、それにもとづいて審査員審査が行われます。
- ③これをもとに令和2年11月4日（水）に審査会の様子が放映されるオンライン放送（第22回図書館総合展ONLINEのなかで開催）において、文部科学大臣賞、公益財団法人図書館振興財団賞、審査員会特別賞の各賞が決定され、あわせて表彰されます。

☆開催・募集要項と詳細また過去の受賞事例、最終審査会の様子（動画）などは図書館総合展公式webサイトでみられます☆ <https://www.libraryfair.jp/>

主催：図書館レファレンス大賞実行委員会 後援：文部科学省（予定）、公益社団法人日本図書館協会（予定）

協賛：公益財団法人図書館振興財団 協力：図書館総合展運営委員会

